主な記事
2面　司教館の窓から、典礼奉仕のために
　　高松教区の兄弟姉妹たち
3面　会計報告
4面　教勢報告
5面　神学生だより、ひと、委員会報告
6面　医療のともしび、書籍紹介
　　教区・司教スケジュール

カトリック高松教区報

2009年7月5日（第130号）
発行所　カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074　高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659　FAX 087-833-1484
Email
教区：catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報：tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成：yosei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

神さまとの協力宣教司牧

ブラザー　八木　信彦

たとえば対称的なものがあるとします。「内向き」「外向き」、「受けること」「与えること」、「動的」「静的」等々…。このどちらか一方が大切ではなく、双方のバランスをとることが大切だと思います。そのバランスのとれた状態だと、お互いが他方を生かし合う関係が生まれますが、どちらかにかたよると、他方を壊し自体もつぶれてしまいかねません。

今までの教会は「内向き」志向にかたよっていた感があります。それ自体に限界がきていないでしょうか。「内向き」も大事なことなので、「外向き」にもう少し比重を置き、バランスがとれれば「内向き」も生きてきます。

協力宣教司牧態勢は、この「外向き」に比重を置くために助けてくれるものだと思います。自分だけの領域から、隣の教会、まわりの地域、日本の社会、遠い国々へと視野が広がっていくきっかけになり得ます。ひいては、キリストを知らない人にキリストを伝えていくという宣教にもつながっていくものです。ですから協力宣教司牧態勢そのものが最終目的ではなく、福音宣教を目指すためのものです。そのために司祭、修道者、信徒が、自分の持ち分を与え合い生かし合う良い機会です。

新しいものに移行していくためには、必ず先に前のものを手放していかねばなりません。未知の世界に入っていくには、エネルギーを使うし恐れも伴います。できたら前のものを手放したくないし、そうすることはとてもつらいことです。まして慣れ親しんだものや人や仕事、思い出や環境をそこへ置いていくわけですから。

ただ、そこに留まらずに出発しなければならない「とき」もあるように思います。この変化の「とき」を、自分を脅かすものや問題としてか、または可能性やチャレンジとしてか、どのように捉えるかによって、どのように関わるかが決まってきます。

何よりも若者は、その可能性を求めるチャレンジ精神のある教会、「外向き」「与え合う」「生かし合う」教会の姿をどれだけあこがれ待ち望んでいることでしょう。そしてそういう教会からたくさんの召命も誕生するのでしょう。

もちろん困難も伴いますが、それを乗り越えるために、決して忘れてはいけないことがあると思います。それは「自分の力だけで解決しようとはしない」そして「委ねるべきお方がそばにいらっしゃる」という「神さまとの協力宣教司牧」です。

「外向き」「生かし合う」教会へ

若者たちも待ち望んでいます

赦しの秘蹟（恵み）に想う

江ノ口教会
諏訪栄治郎

司祭に叙階されて三十年余、未だ浸透していないものの一つに「赦しの秘蹟」があると感じています。幼い時に教会通念でも、まして時によって変わるような自分の心に基準はないのです。『私にとって生きるとはキリストであり・・』（フィリッピ書）パウロにとって、いやキリスト者にとって、生きる基準はイエス・キリストの愛なのです。キリストの愛が無かった時・・さまざまな悲しみと痛み（罪）の花が咲くのです。ですから、どんな花が何度咲いたのかを羅列することより、キリストの愛に生きたいと願う事が「赦しの秘蹟」の動機だと想うのです。

また私たちは、洗礼、堅信の秘蹟を頂いたとき「聖香油・キリストの油」を注がれました。それはキリストの「祭司職」に接ぎ木されたことでした。

多くの人々のために祈り、執り成しをする祭司として、私たちは多くの人々の罪を神の前に「赦しを願う」のではないでしょうか。『朝夕の祈りを怠りました、罪はそれだけです…』という告白を何度、私は聴いた事でしょう。私たちは世界の苦しむ多くの人々のために、祭司として赦しを祈るのではないでしょうか？それが教会の使命ではないでしょうか？

キリストの愛が罪の償いとなった

程とはまるで逆であると気づくのです。『父よ、彼らをお赦しください、彼らは自分が何をしているのか分からないのです』キリストによって遥か先に神の憐れみと赦しが用意されていたのです。ヨハネの手紙、パウロの手紙しかりです。すなわち、私の「告白」によって罪が赦されるのではなく、また、私が「罪の償い」として課せられた「三回の主の祈り」によって罪が赦されるのではないのです。イエス様の仕える愛、十字架が私たちへの罪の償いとなっている事に心すべきだと想うのです。イエス様への感謝と愛は見えないのです。

主の十字架を見つめると上記の過

スの愛を知らない時、人は自分の心が良く見え、罪（愛の不在）も感じないのです。私たちが十字架のイエス様を見つめ、主の愛に心をはせる時、愛のない自分の姿が見えてくるのです。私たちが糾明するとき、自分の心ではなく、イエス様の十字架を見つめ観想するべきだと思うのです。

罪の基準、それは社

えられた初聖体の「告解の仕方」に、どこかおかしいと感じているのは私だけでしょうか？今、赦しの秘蹟を見直す必要を強く感じています。例えば、〔私の罪・・地獄へ堕ちたらどうしよう・・恥ずかしくとも告解する・・罪の赦しを頂く・・ほっと・・告白至から出る〕残念ですが、そこには精神安定の要素はあってもイエ

「司祭年」始まる

聖ヨハネ・ヴィアンネ帰天百五十年を機に、教皇ベネディクト十六世は「司祭年」テーマ「キリストの忠実、司祭の忠実」（今年六月十九日～来年六月十九日）の開催を告示された。司祭がその役割と使命を忠実に果たすことが出来るよう、この一年を共に祈って参りましょう。

「嘆き節」やめ　何度でも分かち合いを

「司教教書」　私の愚考

郡中教会　今泉　芳純

今年の四旬節司教教書が三月に発表されて四ヶ月になる。この教書について分ち合いを持つことを勧められ、実施したが、結論を得るところまでには至っていない。

これまで事ある毎に私が言ったり、耳にしているのは、「教区のことには無関心であり、これからの課題や過去の事を言われても理解できない」、「私の教会は少子高齢化や信徒数の減少で教会で働く人は限られている」、「青少年の育成・召命をと言われても、私の周りには青少年がいない」、「未だ、協力宣教司牧体制に馴染めない」、「一致と言うのは易しいが、千差万別の考え方を持っている人々の一致を図ることは難しい」等、半ば諦めかけた嘆き節に近いものだ。

その嘆き節を盾に何も行動していなかったのが事実だと自省しているところに司教教書が発表された。

この教書は二〇〇四年七月、「高松教区の一致と再生」のために着座され、日夜精励されている溝部司教様が渾身の力を込めて推敲された教書だと思う。

内容は、教区が抱えていた亀裂・混乱への分析、それを踏まえてこれからの教区の在り方についての指針、教区の最優先課題が明確に示されている。

嘆き節の持ち主である私にとって、この教書はまさに目からウロコである。

一回ぐらい目を通して、おざなりの分ち合いで終わらせることは勿体無いし、それにもましてこの教書をお作りになった溝部司教様に失礼だと思う。

これから、それぞれの立場で何度も教書を精読し、何度でも分ち合いの場を持ちたい。そして、行動したい。教書の言葉を借りるが、今、それが「出来る事」で「出来る時」ではないだろうかと愚考している。

ちなみに、教区司祭評議会、教区宣教司牧評議会ではこの教書を分ち合いながら今年の「教区民のつどい」、三年後には「宣教大会」の開催を考えている。

はばたき

昨年度から大学で「政策ディベート」という授業を担当している。新たにできたグローバルスタディーズ特別コース所属の二年生を対象にした授業で、「ゲームとしてのディベートを楽しみながら、情報分析能力や論理的思考能力、また人間関係構築能力を向上させる」ことを目的としている。学生には、自らディベートをするだけでなく、他チーム間の試合につき、一人一人が、理由を挙げて勝敗の判定を示すことを求めている。

今年度の受講生数は十七名と、多人数講義が多くなりがちの社会科学系の授業としては、かなり「ぜいたく」な授業の部類に入る。昨年度この授業を受けた一名の三年生が、常時、アシスタントとして来てくれており、よき兄貴分として活躍している。受講生の士気も上々で、授業時間外にグループで集まるなど、積極的な姿勢が十分に看取される。

前半部の論題は、「ソマリア沖の海賊対策のため、海上警備行動として自衛艦を派遣することの是非」というものだ。肯定側の立論の道筋は、ほぼ一つに限られるのに対し、否定側には、いくつかの立論の道筋がある。肯定側の難しさは、否定側の種々の主張パターンへの対応を準備しておくこと、否定側の難しさは、代替案を示す際に、その現実性を立証することや、自らの基本的立場との論理的整合性を確保することであろうか。

前半部の授業は、まずまずうまく行った。後半部では、この成果を踏まえ、論題の設定やルールの取り決め等につき、学生主体で行う予定である。

参加者全員が主体的意識をもち、自分のできるかぎりを提供し、他者から与えられるものを最大限に受け取る・・・このようなことができたとき、その場がどこであれ「聖霊の下での一致」という恵みを感じる。

高松教区の兄弟姉妹たち ④

聖母被昇天修道会（OR）

すべてはイエス・キリストから
すべてはイエス・キリストのため
すべてはイエス・キリストのもの

マリア幼稚園　聖母行列

聖マリ・ウージェニー

本会は、１８３９年、フランスのパリで聖マリ・ウージェニーによって創立されました。

当時のフランス社会では信仰心が薄れ、物質主義やエゴイズムがはびこっていました。聖マリ・ウージェニーは、そのような社会に根本的な考え方と価値観を与え、イエス・キリストが示された神の国の到来のために働こうとして修道会を創立したのです。

現在、本会は４大陸の３５か国で、人々と連帯しながら、教育を通して、また様々な使徒的活動を通して、社会をよりよく変えていくために働いています。日々の生活においては、わたしたちは共同生活、個人の祈りと共同の祈り、聖体礼拝に重きをおいています。

日本では、１９５２年に創立され、箕面市に本部修道院と聖母被昇天学院（幼・小・中・高）があります。

大阪市の西成修道院では、貧しい人々、苦しんでいる人びとと連帯するために働いています。東京修道院ではフィリピンの人々の司牧と小教区での奉仕に携わっています。高松では、１９６６年に修道院が創立され、翌年マリア幼稚園が開設され、現在に至っています。

司教館の窓から

司教のぼやき

誰かがこの欄は「司教のぼやき」の方が似合うと言った。それも一理あると私も思った。漱石ではないが、人生ままならぬ事が多いというのは確かである。若くない年でコンピューターなどをしていると、訳の分からないうちにたびたびキーが動かなくなることがある。焦れば焦るほど、にっちもさっちもいかなくなる。何とかしようという想いにとらわれると、機械は梃子でも動かない。司教の仕事も、どうしてもこれと思い詰めても、どうにもならないことが殆どである。その時他人のせいにしてぼやけば、あまり良い結果は生み出さない。

かわいいぼやきもあり、人を和ませることもある。楽天の野村監督などが良い例で、その実、言いたいことをきちんと言っているのである。ただこの場合、ぼやきを聞く方が、それを聞き分ける力が必要なのであろう。そのほか建設的ぼやきもある。口に出して「あかんな」と言っているうちに、また次の正念場でどのように対処するかのアイディアが生まれるのである。「うまくいかん」と繰り返しながら、次の秘策が生まれると言った種類のものである。多くの可能性を考える事が出来るからである。

何とも頂けないのは、年が明け年中同じことをぶつぶつ言って、そこから一歩も抜けきれないぼやきである。

人が出した提案には必ず何か述べる一言居士であるか、何も言わず、知らぬ存ぜぬを決め込むか。どちらも頂けないぼやきである。

溝部　脩

ルルド祭ではしゃぐ子供たち

Ⅰ．典礼とは？→③「キリストの教会のわざに与る」
『カトリック教会のカテキズム』1071, 1072より
「キリストの教会のわざに与る」とは、どのようなことでしょうか？次の二つの文章をお読み下さい。

「…キリストは、常に自分の教会とともに、特に典礼行為に現存している。キリストはミサの犠牲のうちに現存している。…だれかが洗礼を授けるとき、キリスト自身が洗礼を授けるのである。…聖書が教会で読まれるとき、キリスト自身が語るのである。…キリストは、教会が懇願し、賛美を歌うときにも現存している」（典礼憲章7）。それゆえキリストの教会のわざは、「公的礼拝」と呼ばれています。私たちが「日本人のミサ」とか、「〇〇神父による洗礼」、「××運動グループ独自の典礼」等の言葉を使う時には注意して損はありません。「…日本の教会は四十数年、公会議との格闘を続けています。その闘いは「開き派」と「閉ざし派」の闘いであり、（中略）また、「教条主義」と「福音主義」のつな引きであり、焦点を小さく絞って個人のレベルで言えば譲れないものとして「キリスト」を掲げるのか「オレ」（自分）を掲げるのか、つまり「キリスト信者」なのか「オレオレ信者」なのかという、問いかけまで迫られるような格闘でした。…」（「言の波」長崎大司教区本部事務局発行　2009年2月1日p. 10　直接宣教を　橋本勲師）。示唆に富む切り口ですから拝借致します。この側面から前回の３つの出来事を振り返ってみましょう。「譲れないもの」は何か？

☆　作業服のおじさんを聖堂から追い出そうとするケース。どうしたらキリストの教会に近づけるでしょうか。まず、私は「礼服至上主義」を脱ぎ、「キリスト」を着ましょう。おじさんにも「作業着礼賛主義」を脱いで頂き、「キリスト」を着て頂きましょう。ヘルメットを脱いでいるので既に「古い自分を脱ぎ捨てて」おられるかも知れませんが。週日の午後6時の聖堂で、たまたま出会ったこんな二人が祈っているとしたら、主イエスも聖ヨゼフも喜んで下さるのではないでしょうか？「晩鐘」の絵の世界に礼服はいりません。共に祈って下さる主イエスキリストの祭司職を、苦しみ悩む多くの兄弟姉妹と共に生きる事ができたら！私たちが招く人になる時、キリストの教会のわざに与り、キリストの救いの見えるしるしになるでしょう。その時にはもう、「オレオレ信者」からの脱却は済んでいます。

仕える典礼 ④

『典礼奉仕』のために

高松教区前典礼委員長　土屋和彦

☆　外国語での朗読を止めさせようとするケース。日本人に日本語典礼を行う権利がある訳ではなく、日本の教会に日本固有の典礼を行う権利はありません。また教会は、民主主義の原則にも基づいてはいません。私たちは「ローマ・カトリック教会」に属しており、典礼に関する規範は第一に、キリストの教会の権威にのみ依存しています。この権威は「使徒座」に、また同時に「司教」にあると定められています（典礼憲章22§1）。この権威は第二に、司教団にあると書かれています（§2）。

さて日本の司教団は、日本にいる多国籍のカトリック信者の宣教司牧を優先課題の一つに数えています。また、溝部司教もこの司教団の方針にのっとり、司教との交わりと一致の中で取り組みを我々に呼びかけておられます。（個別グループの典礼に関する活動に対し、明確な方針を示しておられる2006年教書「聖体の年にちなんで（下）主の日の意義について」p. 6, 7を特に参照する必要があります。）ですから、「司教との交わりの中で、司教の方針と一致している司祭」の決断に関して、基本的人権やその他の理由によって異議を差し挟むこのケースの場合は、よくよく自らの主張を吟味すべきでしょう。司祭はキリストへの従順、同時にキリストの教会への従順、即ち司教（ローマの司教含む）と司教団への従順の中で、神の民への奉仕を生きようとしています。司教、司祭の司牧的配慮に眼を向けて下さい。是非、洗足式の時に、仕える為に来られたキリストの王職を思い起こしましょう。

☆　オルガン奏者が音痴の司祭と戦うケース。結果は通常、明らかにひどいものになります。

1）音痴の司祭の音に従う人の歌声、2）オルガン奏者の「正しい」音に従う人の歌声、3）どちらに従えば良いか判らず、迷い歌う人の声　これらは不協和音になりやすく、まずハモることがありません。

欧米やアジアの大聖堂のオルガン奏者は社会的地位が認知されています。グレゴリオ聖歌を含む、教会の典礼音楽の豊かさ故のことでしょう。実際、音痴の司祭が音をはずしても、直ちに転調して合わせてしまう高度な技術を持つオルガン奏者の方にしばしば出会います。またベテランの司祭であれば、ミサの前にオルガン奏者に一言「半音上げて下さい」と指示する名手もおられます。オルガン奏者の奉仕は、実に「…祈りをより美しく表現し、一致協調を促進し、また聖なる儀式をより荘厳なものとして豊かなものとする…」（典礼憲章6章112）役割の中にあります。音痴の司祭（私です）の歌ミサ練習にもご協力下さい。

次回から稲毛神父が担当します。お楽しみに！

２００８年度　教区会計決算報告

２００８年度も教区の
宣教活動にご協力頂き、
会計決算が無事に
終えたことを感謝し
報告いたします。
現状として、維持費の減少と、
教区内で働く人が増えた結果、
教区運営が難しく
なっています。
来年の予算では
３人の神学生育成費が
増加しますので、
特に一粒会献金をお願いし、
今年度も司祭・
修道者・信徒の
奉仕と寄付の
お願い申し上げます。

教区会計
サンティアゴ・サイズ神父

科目	教区本部合計
経常収入の部	
（納付金収入）	23,260,000
教区納付金(A)	16,130,000
教区納付金(B)	7,130,000
教区納付金(C)	
（分担金収入）	1,107,725
小教区分担金収入	
その他分担金収入	1,107,725
（特定献金収入）	4,335,368
児童福祉の日献金	1,756,313
聖地献金	13,000
愛の献金	521,603
広報の日献金	392,743
聖ペトロ使徒座献金	432,388
世界難民移住移動者献	376,714
世界宣教の日献金	428,663
宣教地司祭育成日献金	413,944
（一粒会献金収入）	2,592,667
一粒会献金	2,592,667
（特別献金収入）	55,294,434
祭式献金	9,663,425
特別献金	27,177,223
一般特別献金	11,177,994
一般献金	7,275,792
（墓地・納骨堂等収入）	6,931,000
非課税永代使用料収入	80,000
課税永代使用料収入	2,700,000
管理料収入	4,151,000
その他納骨堂等収入	
（雑収入）	3,277,850
課税雑収入	2,589,350
非課税雑収入	688,500
（事業収入）	2,027,600
受取利息配当金	1,562,100
有価証券売却益	
施設利用料収入	465,500
【経常収入計(A)】	98,826,644

財務収入の部	
（固定資産収入）	3,560,000
長期貸付金回収収入	3,560,000
（その他の財務収入）	81,520,326
未収入金収入	604,510
立替金回収収入	8,216,964
仮払金回収収入	50,195,327
預り金収入	9,252,573
仮受金収入	13,250,952
（内部取引勘定収入）	54,347,961
基金勘定収入	3,620,669
教区事務勘定収入	26,606,249
一粒会勘定収入	1,961,993
墓地納骨堂勘定収入	40,318
司祭会計勘定収入	22,118,732
【財務収入計(C)】	139,428,287
【収入計(E=A+C)】	238,254,931
（前期繰越金(G)）	308,058,960
【収入合計(I=E+G)】	546,313,891

経常支出の部	
（祭儀費）	191,760
祭儀費	191,760
（諸委員会活動費）	6,240,978
生涯養成委員会	1,036,945
広報委員会	1,840,064
典礼委員会	290,956
青少年宣教司牧委員会	2,039,890
人権を考える委員会	155,220
その他委員会	877,903
（宣教活動費）	2,918,993
中央協議会分担金	980,000
広報活動費	34,650
教区行事費	
研修費	1,707,838
調査研究費	
資料図書費	32,505
諸会費	164,000
（助成金支出）	364,950
小教区助成金	364,950
（援助事業費）	8,624,879
高松教区援助事業費	2,603,944
教皇庁援助事業献金	4,193,664
中央協議会援助事業	1,827,271
（人件費教区事務局等）	37,489,857
本俸・諸手当	33,879,400
通勤手当	
法定福利費	3,610,457
退職共済掛金	
退職金	
（福利厚生費）	156,760
厚生費	
福利費	156,760
（維持管理費）	4,322,540
保守管理費	1,273,934
水道光熱費	1,318,695
什器備品費	1,005,701
営繕費	537,810
園芸費	
損害保険料	186,400
（事務管理費）	11,596,745
事務印刷費	976,225
消耗品費	118,583
電話FAX料	212,977
通信費	561,999
支払手数料	166,802
旅費交通費	3,381,607
公租公課	691,900
資料図書費	786,510
会議費	766,115
接待交際費	423,350
報酬手数料	1,012,603
諸会費	10,500
リース料	197,400
自動車諸費	2,075,832
修繕費	194,342
雑費	
賃借料	20,000
（養成費）	4,092,563
祭儀費	
教育費	1,802,100
海外研修費	
運営分担金	1,883,700
行事費	200,641
召命促進広報費	
会議費	
旅費交通費	206,122
【経常支出計(B)】	76,000,025

財務支出の部	
（固定資産支出）	19,110,931
基本建物購入支出	5,102,054
基本土地購入支出	6,977,942
建物付属設備購入支出	2,697,245
構築物購入支出	563,000
祭儀備品購入支出	
器具備品購入支出	1,420,690
車輌購入支出	350,000
長期貸付金支払支出	2,000,000
（その他の財務支出）	95,402,997
立替金支出	8,465,264
仮払金支出	53,062,307
前払金支出	
短期借入金返済支出	
未払金支出	4,253,600
仮受金返還支出	20,545,907
預り金支出	9,075,919
短期貸付金支払支出	
（内部取引勘定支出）	54,347,961
基金勘定支出	3,620,669
教区事務勘定支出	26,540,524
一粒会勘定支出	2,030,718
墓地納骨堂勘定支出	40,318
司祭会計勘定支出	22,115,732
旧神学院勘定支出	
（資金調整勘定）	-3,710,000
前期末前払金(－)	
期末未払金(－)	-3,710,000
【財務支出計(D)】	165,151,889
【支出計(F=B+D)】	241,151,914
【次期繰越金(H)】	305,161,977
【支出合計J=F+H】	546,313,891

２００８年度カトリック高松司教区現勢調査報告

2008年12月31日現在

１．信徒数概況

	香川県	愛媛県	高知県	徳島県	合　計
面　積	1,862.28 Km²	5,677.73 Km²	7,105.13 Km²	4,146.55 Km²	18,791.69 Km²
人　口	1,003,004 人	1,439,143 人	781,862 人	793,629 人	4,017,638 人
前年度信徒数	1,544 人	1,866 人	784 人	718 人	4,912 人
信　徒	1,570 人	1,821 人	788 人	708 人	4,887 人
司教・司祭	14 人	17 人	6 人	4 人	41 人
助　祭	1 人	1 人	人	人	2 人
修道士	人	人	1 人	人	1 人
修道女	44 人	31 人	9 人	人	84 人
神学生	1 人	人	人	人	1 人
総　数	1,630 人	1,870 人	804 人	712 人	5,016 人
前年度総数	1,636 人	1,912 人	800 人	722 人	5,070 人

２．人員構成

司教		2 人
教区司祭		13 人
宣教・修道司祭	ドミニコ会	13 人
	オブレート会	9 人
	スペイン外国宣教会	4 人
	宣教・修道司祭小計	26 人
助祭		2 人
神学生		1 人
修道士		1 人
修道女	聖ドミニコ宣教修道女会	55 人
	松山修道院	15 人
	北条修道院	12 人
	新居浜修道院	4 人
	坂出修道院	20 人
	小豆島修道院	4 人
	聖心の布教姉妹会	9 人
	聖母被昇天修道会	6 人
	神の母マリア修道院	13 人
	コングレガシオン・ド・ノートルダム	1 人
	修道女小計	84 人
教区外司祭		11 人

３．諸施設

（１）教会	
小教区	26 所
巡回教会	3 所
布教所	1 所
（２）修道院	
男子修道院	1 所
女子修道院	9 所
（３）教育施設	
聖カタリナ女子大学	787 人
聖カタリナ女子短期大学	315 人
愛光学園高等学校	700 人
聖カタリナ女子高等学校	1,192 人
愛光学園中学校	580 人
幼稚園（23園）	2,734 人
（４）社会福祉施設	
聖マルチン病院	196 床
聖マルチンの園	50 人
白百合荘特別養護老人ホーム	50 人
マリアの園	50 人
聖園天使園	101 人
聖園ベビーホーム	30 人
保育施設	25,770 人

４．教区内組織

- 教区顧問会
- 司祭評議会
- 教区宣教司牧評議会
- 地区宣教司牧評議会
- 小教区宣教司牧評議会
- 経済問題評議会
- 責任役員会
- 修道女連盟
- 典礼委員会
- 生涯養成委員会
- 青少年委員会
  - 教会学校教師会
  - カトリックボーイスカウト中・高生会
- 広報委員会
- 人権を考える委員会
- 諸宗教対話委員会
- エキュメニズム委員会
- 女性委員会
- カトリック幼稚園連合会
- レジオ・マリエ
- カトリック看護協会
- カトリック医師会
- ｸﾘｽﾁｬﾝ・ﾗｲﾌ・ｺﾐｭﾆｯﾃｨｰ
- ﾏﾘｯｼﾞ・ｴﾝｶｳﾝﾀｰ

５．信徒数動向

教会名	信徒数 男性	女性	総数	不明	洗礼 幼	成	転出入 入	出	死亡	堅信	初聖体	求道者	教会学校 信	未	ミサ参加 主日	復活	降誕	結婚 ①	②	③	④
桜町	329	539	868	56	13	13	20	1	7	25	4	15	45	8	300	350	400			2	10
番町	65	107	172		3	1		7	1	1	1	2	8	0	50	70	150				
小豆島	31	35	66	27	1	5			5			2			15	25	40				
三本松	17	19	36	2			2	3				8	3	0	20	30	50				
坂出	65	126	191		4	3	4	3	7	3	2	12			50	90	120				
丸亀	32	92	124	5	3				4			7	18	0	70	80	160		1		
観音寺	7	25	32		1		2		3			3			17	30	60				
善通寺	23	58	81					1				3			14	30	50				
香川県計	569	1,001	1,570	90	25	22	28	15	27	29	7	52	74	8	536	705	1,030	0	1	2	10
松山	341	647	988	43	11	23	9	17	10	26	10	6	32	0	300	450	500	2		2	2
道後	53	108	161	4		2	3	1	1	2		1	4	0	50	80	230				2
今治	78	90	168	5			1	1	2			2	3	0	50	200	300				
新居浜	98	140	238	1	2	2	1	4	5	1		3	16	1	73	105	150			1	1
西条	18	37	55	2	1		3	4	1			1	8	12	17	74	85				
郡中	19	43	62		1	2		1	2			3	3	15	35	50	100				
八幡浜	15	53	68	1	2	1		4	2						20	40	60				2
宇和島	19	47	66		3			4	3			3			35	100	100				
伊予三島	8	7	15												5	15	20				
愛媛県計	649	1,172	1,821	56	20	30	17	36	26	29	10	19	66	28	585	1,114	1,545	2	0	3	7
中島町	150	268	418	47		2	2	4	2	1	2	4	6	0	80	270	270			1	8
江の口	78	126	204	8			5	1	2			65	2	25	60	100	130				
安芸	10	28	38						1						7	15	24				
赤岡	11	22	33			1		2	2	1	1	1			17	30	30				
中村	11	84	95		1			3	1			1			15	90	90				
高知県計	260	528	788	55	1	3	7	10	8	2	3	71	8	25	179	505	544	0	0	1	8
徳島	134	252	386	12		3		4	2	3	6	2	35	11	77	257	300				1
鳴門	83	105	188	0	1		0	8	0	0	0	2			40	70	180				
阿南	35	56	91	0	1		0	0	1	0	0	3			15	30	40				
池田	8	35	43		3										8	15	20				
徳島県計	260	448	708	12	5	3	0	12	3	3	6	7	35	11	140	372	540	0	0	0	1
教区総計	**1,738**	**3,149**	**4,887**	**213**	**51**	**58**	**52**	**73**	**64**	**63**	**26**	**149**	**183**	**72**	**1,440**	**2,696**	**3,659**	**2**	**1**	**6**	**26**
前年度	1,743	3,169	4,912	165	43	47	67	71	71	24	49	155	188	59	1,396	2,560	3,736			12	95

【結婚】　①＝カトリック同士　②＝カトリックと他のキリスト教　③＝カトリックと他の宗教　④＝非カトリック同士

聖なる・・・ 神学生だより ⑦

日本カトリック神学院
神学科１年　**松田　栄作**

福岡へ移動して数ヶ月が経ち、福岡の生活にも慣れてきた頃合いです。東京にいたときとは雰囲気が随分違います。清らかな九州の神学生たちと合流したということもあると思いますが、この神学校という空間に染み付いている祈りの雰囲気が深く感じられます。「聖なる」という形容詞が当てはまる場所だなと思います。

さて、当神学校の神学生は哲学科１年の初年度養成の人々を除いて、毎週土日になると各地の教会へ司牧実習に出掛けます。私は新田原教会へ通うことになりました。大分県に近く、電車とバスで３時間以上かかる場所ですが、これが、こんな教会があったのかと驚かされてしまうような教会なのです。小さな町なのに信徒数は約１、８００人、長崎県五島からの移住者が開拓した果樹園の広がる町で、ほとんどの人がカトリック信者という町です。主日には５００～６００人の会衆と子供侍者が１５人位いたり、週日の朝ミサにも５０人位の会衆と子供侍者がいたりして、軽いカルチャーショックを受けました。ここでは信仰と生活とが一体化しているのです。教会学校にも２０～４０名位（名簿上は８３名）の参加があり毎週とても楽しいものになっています。私は信仰のパワーのようなものを感じ、週末にこの教会に行くのが楽しみでならないというような嬉しい状態です。病院やデイサービスなどを経営している聖母訪問会という修道女会が隣接していますが、ここのシスター方も高齢化しているのに活発です。３Ｃ（Chance, Challenge, Change）という目標を掲げて現代の困難な状況を乗り越えて行こうとしています。こんな風になればいいなという、教会作りの目標が出来たような気持ちがして、何かその秘訣を学んで高松へ持ち帰ることができればという思いで頑張っています。

架け橋のように

ドミニコ修道会
アウグスチノ・レオ　**稲毛　利之**

司教様、司祭の方々そして皆様この度、協力宣教司牧司祭として高松教区に赴任いたしました稲毛神父です。

私はドミニコ会士で三年前の三月に高松教区にて溝部脩司教様より助祭叙階を受け、翌年、つまり二年前の三月に東京教区にて司祭叙階を受けました。まだ司祭としてはたった二歳の赤ん坊なので皆様よろしくお願い申し上げます。

また、叙階後すぐにフィリピンへ赴任して、二年間の勉強を終えて帰ってきたばかりなので、正直言ってまだ少し日本の生活に戸惑っています。皆様のご忍耐をお願い申し上げます。

私が洗礼を受けたのはちょうど二十歳の時で、それまでは神道の影響を受けていたと思います。カトリックとの初めての出会いは幼稚園の時で、宇都宮に生まれた私は松ヶ峯幼稚園に通っていました。

第二の出会いは香港の信者さんを通して、そして第三の出会いはカルメル会のシスター達の祈りのテープを偶然耳にしたところから始まりました。それから三年旅をしてイエズス会の聖イグナチオ教会で回宗し、さらに三年旅を続け、ドミニコ会に入会しました。ちなみに神学校はフランシスコ会です。

様々な人々の境界線を巡り歩いたイエス様に倣い、教区はもちろん、修道会、人種、国境、宗教の狭間に架かる架け橋になれたら幸いです。

皆様、よろしくお願いいたします。

ひと　愛媛　松山教会　森川美枝子さん

二十一年六ヶ月目の楽しい嬉しい退院の日の句ですが、その日々も長くは続きませんでした。

「私は、ただ永い療養生活を空白にしたくないために俳句を始めましたが、その俳句と力トリックの信仰が、計り知れない心の支えとなり、病を通して得た神と人との出会いを大切に、神のみ手にある自然を俳句文学として心を養われました。信仰と俳句が生き甲斐で神を賛美しつつ、移り行く自然の感動を俳句に書き留めながら、生かされております。」と、述べておられます。

私はレジオ・マリエ会訪問活動として、森川さんとはもう十年以上のお付き合いですが、病状がどんなにひどい時にも、彼女からはいつも神さまに生かされ守られているという感謝の言葉以外聞いたことがありません。彼女の微笑を絶やさない表情と振る舞いを通じて、神さまの慈しみと優しさを感知させられます。

文責＝シエナのカタリナ藤原美智恵（松山教会）

高階やわがふるさとの遠ざくら（平十六年）

（入居中のケアハウス三階自室から二度と帰れないかも知れない故郷を偲んでの作句）

現在八十三歳の森川さんは、二十五歳の青春時代に肺結核で国立愛媛病院に入院。同病で、すでに入院中であった高名な俳人である実兄から作句の手ほどきを受け、人一倍秀でた感受性と感覚で、忽ち頭角を現し、病室の窓からのみの作句でありながら、現在までに「糸瓜」で草木抄賞受賞、「若葉」で第四回艸魚賞受賞をはじめ、入選、入賞を重ね、句会「若葉」「冬草」「糸瓜」で同人に推挙され、遂に俳人協会会員までなられました。

しかし、その間の彼女は、ごく短い自宅での生活を除いて、多くの病院を転々と移らねばなりませんでした。そして二度と社会人として会社で働くことはできませんでした。

母と住むことのかなひし春燈（昭四十一年）

ミサ終えし後も祈りて堂涼し（昭四十一年）

まだ生きてゆけそう小春日がつづく（平十九年）

委員会報告

生涯養成委員会

一　二〇〇九年度活動方針
「四旬節教書」を受けて、教区の優先課題を推進する意味で信徒の養成を目指す。

二　「パウロ年」のプログラム
六月二十七日（土）の溝部司教の講座で終了した。「宣教」の大切さを掲げている高松教区はパウロにあやかり九月からも溝部司教の講座を予定。他地区での開催を、地区の責任者と日程調整中。

三　黙想会
塩江黙想の家で「宣教」と「祈り」をテーマに黙想会を計画中。

四　行事
「賛美の歌」のグループによる「平和音楽会」を開催予定。

時＝八月十五日（土）
午後二時
所＝坂出カトリック教会

女性の視点から教会を考える委員会

（通称・カトリック高松教区女性の会）

四月十八日（土）四国カトリック会館において担当者会を開催し本委員会規約草案を教区に提出し検討をお願いした。総会と研修会の日程は次の通り。

「女性の視点から教会を考える委員会」研修会
＊日時＝二〇〇九年十一月七日（土）十一時～十五時
＊場所＝四国カトリック会館（桜町）
＊講師＝佐々木　博　神父様（仙台教区　前オリエンス宗教研究所所長）

『福音は神の力』

鳴門教会　林　広

三月二十二日に和田幹男神父様によるパウロ三木・徳島教会での黙想会に与りました。

神父様は「あのイエス様は死んだけど、生きているんだ」と、復活した主との驚きの遭遇を宣教することがパウロの源泉である、と。

また、イエス様の復活を受け入れない人々には、囚われの身（死を連想させる最悪の状態）であるのだが、パウロには、逆境こそがイエス様を注目させ、福音が広まると喜んだ。

その理由は、ユダヤ教の教えの頂点は「汝の神を愛せよ」に尽き、その真意は人に対する神の「慈しみと愛」の心が、律法の裏に隠されたが故に、イエス様が死をもって表に引き出された。その神の慈しみを、死は永遠の命への単なる通過点であると、復活したイエスはパウロに諭された。それで彼は、死は喜びに変わると悟り、逆境や、弱さの中にこそ、キリストが働かれるとの確信を得、「弱さを誇る」と、イエス様の復活（福音、キリストの現存の証し）を力強く各地に述べ伝え、根付かせた。

それらの歴史は超時代的、超歴史的であるので「福音は神の力」であると和田神父様は言われました。

昨今の日本は、構造的な富の虚構の破綻として「派遣切り」に象徴される、マモンが姿を現している。弱さのうちに神が働かれるのだから、今の日本にこそ、キリスト様が世に知られる絶好のチャンスである。と、福音を述べ伝える力と強さ、をいただきました。

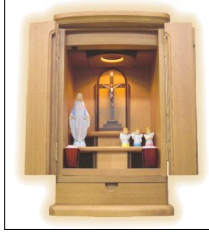
聖マルチン病院
薬剤師・看護師（募集）　随時募集しています。
聖マルチン病院で専門職を発揮しませんか

下記にご連絡下さい。（総務課）
0877-46-5195

住環境福祉コーディネーターが家造り
福祉住環境リフォーム
高齢者・障害者に配慮したバリアフリーの住宅
福祉住環境リフォーム・新築・増改築工事・設計施工
有限会社リフォームオオタ
代表取締役　太田　修
〒763-0092　丸亀市川西町南449番地3　TEL (0877) 28-0881・FAX (0877) 28-0190
E-mail o-chandazo@theia.ccn.ne.jp　URL http://www.reform-oota.co.jp

愛光中学・高等学校
輝く知性と曇りなき愛
愛（Amor）と光（Lumen）の使徒たらんこと！

〒791-8501
愛媛県松山市
衣山5丁目 1610-1
TEL089-922-8980
http://www.aiko.ed.jp

家庭祭壇

祈りと安らぎの空間
家族揃って祈れる場所がご家庭におありでしょうか？
8.5万円～各種取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。カタログを無料にて郵送致します
TEL 0972-63-4187
担当：ローザ平林美穂子
〒875-0041
大分県臼杵市畳屋町三組　山本鳳凰堂

私たちは、
自分を創造しようとするこどもを
まなび、護りましょう。

暁の星学園
鳴門聖母幼稚園　阿南聖母幼稚園

神の計らい

丸亀教会　香川　法子

神様は神の子供として、この私を再び津和野へと呼び寄せたかったようです。教会に足を運ぶたびに、乙女峠巡礼のポスターが気になって仕方がありませんでした。若き日に遠藤周作の本に促されて津和野を旅したことがあります。でもその時は神を文字で辿る物見遊山の旅でした。三尺牢や踏み絵、山深い中にひっそりと建つマリア聖堂、興味本位の旅はその後、私の心の闇を掘り返し、気が付けばカトリック信者として、十字架の前に跪いていました。

連休も迫り、ポスターは私の心を急き立てます。一人でも巡礼に行こう、アブラハムも神を信じて、妻ロトを連れて未知の世界へ旅立ったではないか。民宿で一泊し、五月三日の朝十時前に津和野教会へ向かうと、各地から来ている巡礼の人で一杯でした。たまたま会った津和野教会の神父様に「香川県からまいりました」と言うと、「それでは十八番の高松教区に入りなさい。」と言われましたので行ってみると、松山教会の信者さんたちが幟を持って集まっていました。十時半の鐘の音を合図に、さあ、出発です。マリア様のような衣装をしている乙女らが、聖堂のマリア像を輿に乗せ、それを担いで乙女峠のマリア聖堂へ向かって巡礼が始まります。皆、手にロザリオを持ち、一斉にロザリオを唱えながら市中を通り、険しい峠へと向かいます。家々から出てマリア様に手を合わせる人、分からないままロザリオを口ずさんでいる人、この巡礼は、この地にすっかり定着しているのだと思いました。長い行列は一時間余りをかけて乙女峠に到着しました。仮設の大きなテントの聖堂に三十人ほどの赤いストラを身につけた神父様方が入堂されます。周りは信者さんや見物の人で溢れています。それはそれは、圧巻のミサの始まりです。この地で殉教した人たちが、このミサを司式しているようでした。十数か所で拝領されるご聖体。私は信仰の血に染まったこの地でご聖体を拝領できたことに、胸が一杯になり涙ぐんでしまいました。神様はすべてをご存知で、あの日私をここに連れ出し、キリストに結んで再びこの地に来る事をご計画なさっていたのです。洗礼を受けて十六年、殉教者の信仰の証は、何処へいっても私の心から離れ去る事はありません。三尺牢、凍りついた池、雪の中の放置、彼らが何故それらの拷問を耐え忍ぶことが出来たのか、今の私は少しですが分かります。神様へのほとばしる愛。その愛をもって私たちもこの難しい世を生きていかなければなりません。そのことを教えてくれた乙女峠巡礼でした。奇しくも今日五月三日は私の誕生日。神様からの何よりのプレゼントです。一人旅であったにもかかわらず、岡本神父様はじめ松山教会の巡礼団の皆様、色々ご配慮頂いたことを心より感謝しています。神に感謝。

子供の集いで学んだこと

ボーイスカウト高松第九団ベンチャー隊　多田　裕貴

私は今まで復活祭やクリスマス位しかミサに参加していませんでした。その為、信者やシスターと話したこともなく、お祈りなどもしたことがありませんでした。

しかし今回の子供の集いに参加して、分かった事が多くあります。

まず、お祈りの言葉や歌をある程度覚える事が出来ました。またシスターや信者と話してみて、その人たちが普通の人と同じどころか、とても面白い人達ばかりで、私も話に入って楽しく話すことが出来ました。

ボーイスカウトでするようなキャンプとはまた違う感じで、とても面白かったです。今回学んだだけではまだ分からない事が多々あり、これからやっていく中で少しずつ学んでいきたいと思っています。またほかの信者の人たちとも、もっと積極的に話したいと思いました。

子ども&中高生の集いに参加して

徳島教会　小学四年　深堀　愛

「おいし～い！」四月二十五日は、朝から雨でしたが、峰山公園では、曇りになってバーベキューができました。みんなの笑顔は最高で、私たちのそばにはいつもやさしい神様がいるんだなと思いました。夜には、四国カトリック会館へ行って、「神様が呼んでるよ！」というテーマでお話を聞きました。神父様やブラザーたちのお話を聞いていると、本当に神様に呼ばれてここにいるんだなと思いました。

次の日は、グループに分かれて発表の準備をしました。私のグループは紙しばいと人形劇で、子どもがシスターやブラザーや神父様になるお話を発表しました。それから、教会のお手伝いで朗読したこともうれしかったです。帰る時、みんな神様がいてつながっているんだ、と思ったら勇気がわいてきました。

医療のともしび（15）

新型インフルエンザ

豚インフルエンザから発生し、Ｈ１Ｎ１型の新型インフルエンザが全世界に流行しました。５／３０現在で、全世界で１万人を超える罹患数、数十人の死者が、日本で全世界４番目の３００数十人の罹患数ですが、幸いにも死者はでていません。

日本においては、新規発生数が次第に少なくなってきています。これは気候的にも梅雨という雨量が多い時期（これはインフルエンザウイルスが増殖しにくい環境と従来から言われています）に入ってきているせいかもしれません。また今後さらに夏という暑い時期を迎えるため、この環境もウイルスの増殖には適さない環境です。よって日本においては当面は収束する方向に向かうと考えられます。

一方世界に目をむけるとどうでしょうか。現時点で、乾期の地域や冬期の地域があります。この乾いた寒い環境はウイルスの増殖に適しています。これらの地域での新規発生がこれから起きる場合またはすでに起きている場合は、収束に向かうかどうか疑問です。広がるかもしれません。厚労省は日本のみならず世界の発生状況の把握を今後も続けるはずです。

なぜこの観測が必要かといいますと、ウイルスは細胞に入り増殖するとき変異する可能性が常にあるのです。現在は弱毒性と判明していますが、変異後は、強毒性の獲得または抗インフルエンザ薬への耐性獲得の可能性があるのです。この変化が日本以外で起きてしまったら？そしてこれが日本に上陸したときは、今回と違うウイルスとしてふるまい感染するかもしれません。

スペイン風邪が有名ですが、感染者６億人、死者約５０００万人を記録しています。その当時の世界人口は１８億人ですので約３分の１が感染したことになります。第一波は１９１８年３月に米国デトロイトやサウスカロライナ州付近などで最初の流行があり、これは軽症であったそうです。米軍のヨーロッパ進軍とともに大西洋を渡り、５月－６月にヨーロッパで流行し、第二波は１９１８年秋にほぼ世界中で同時に起こり（パンデミック）、病原性がさらに強まり重症な合併症を起こし死者が急増しました。第三波は１９１９年春から秋にかけて第二波と同じく世界的に流行しました。この第二波と第三波で患者数・重傷者・死者が増加したことは有名です。

よって、日本で収束しつつあるからと安心せずに、情報に耳をすませ、準備を怠らないことが肝要と考えます。今秋以降に第二波が来る可能性を考えておきましょう。

政府レベルでの準備として、早くこのウイルスへのワクチンを開発し、国民に接種することが急がれることでしょう。抗インフルエンザ薬（タミフルやリレンザ）の備蓄も全国民分には足りませんのでする必要があります。マスクも今回売り切れが続出しましたので、十分な量の生産を行い備蓄をする必要があると思います。

「備えあれば憂いなし」になりたいですね。

聖マルチン病院　整形外科　田賀谷健一

主な司教日程

7月5日（日）結城了雪祭12:00（阿南）
7日（火）常任神学院委員会
9日（木）宗教者平和懇話会14:00（丸亀）
（日程変更可能性あり）
11日（土）大阪教区巡礼団訪問
17日（金）エキュメニズムグループ来高（善通寺）
宣教司牧評議会役員会13:00
19日（日）高山右近祭13:30（小豆島）
24日（金）大阪管区司教会議
25日（土）高松教区幼稚園研修会
8月5日（水）平和行進（広島）
9日（日）平和を祈るミサ10:00（桜町）
10日（月）～11日（火）
大分教区幼稚園研修会

教区スケジュール

7月1日（水）ペトロ岐部と１８７福者の記念日
4日（土）「パウロ年」閉年ミサ14:00（玉造）
5日（日）年間第１４主日、結城了雪祭12:00（阿南）
7日（火）司祭評議会10:00
9日（木）宗教者平和懇話会14:00（丸亀）
12日（日）年間第１５主日
17日（金）宣教司牧評議会役員会13:00
19日（日）年間第１６主日、高山右近祭13:30（小豆島）
元気を出そう中高生ミサ（高知）
20日（月）海の日
26日（日）年間第１７主日
30日（木）～31日（金）
カトリック四国会館大掃除
8月2日（日）年間第１８主日
5日（水）平和行進（広島）
6日（木）主の変容　日本カトリック平和旬間（6日～15日）
9日（日）年間第１９主日、平和を祈るミサ10:00（桜町）
ミサ後、映画【ひめゆり】鑑賞と分かち合い
10日（月）～16日（日）
教区事務局夏休み
12日（水）～13日（木）
歌って踊って平和を語ろうin徳島
15日（土）聖母被昇天祭「司教座献堂記念日」
賛美の歌コンサート（坂出）
16日（日）年間第２０主日
22日（土）～23日（日）
第３５回教会学校教師会in香川
30日（日）年間第２２主日

新刊書籍紹介

「愛の人　ド・ロ神父の生涯」コミック編

パリ外国宣教会から派遣されて長崎近郊の外海地区に教会と福祉活動の拠点を作り村人、と婦人たちの自立のために愛を惜しげもなく注いだ神父の物語。

Ａ５版　西岡由香 著
２００ページ
長崎文献社刊 ￥１２６０

「徳の飾りよりも」トマス金鍔次兵衛物語

徳は自分のためではなく、人に尽くしてこそ身に付く。１８８殉教者の一人、金鍔次兵衛神父の波乱に満ちた生涯。

宗任雅子 著　２２０ページ
ドン・ボスコ社刊 ￥７３５